



2024-25RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ ガバナー：坂口孝 会長：坂田幸彦 / 幹事：小林群司
 例会日：木曜日午後 12:30 会場商工センター 編集・発行：会報・会場委員会 委員長：小川忠喜

第2回(第2780回) 2025年 7月第2例会 7月10日(木)

【 部門長・委員長方針発表 】

委員長方針

- 点鐘 / 坂田幸彦 会長
- ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 坂田幸彦 会長
- 幹事報告 / 小林群司 幹事

- 委員会報告
- 委員長方針発表
- 出席状況・ニコニコ報告
- 点鐘 / 坂田幸彦 会長

司会進行：松岡 会員

○点 鐘 坂田幸彦会長

会長の時間 / 坂田幸彦会長



2025 年度 第 1 回例会 会長挨拶

皆さんこんにちは、私は 2004 年に当クラブに入会いたしましたのでロータリー歴は 21 年あまりとなります。
 あまり熱心なロータリアンと言えなかった私ですが、様々なロータリーのイベントに参加することにより、ロータリークラブの良いところが少しずつ分かるようになってきました。最近、色々な研修で 2570 地区の活動に参加するようになって、他のロータリークラブの実情を知り、改めて行田ロータリークラブがいかにか良いクラブであるかがよくわかるようになりました。

よくご存じの方が大半だと思いますが、世界のロータリークラブは多くのクラブが出来た為に取りまとめ役として出来たのがロータリーインターナショナル通称 RI です。RI は 520 の地区にわけられています。その中の一つ 2570 地区と呼ばれる地区の、さらにその中の第 5 グループと言われる中に、行田ロータリークラブは位置しております。

当クラブは初代会長の永沼運造氏を創立会長として私が第60代会長となります。私は行田ロータリークラブの特徴の一つは自由で寛容の精神に富んでいるという事だととらえています。

クラブ奉仕をはじめ、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕を行うに当たって多忙さの中で活動をしていくわけですが、自由と寛容の精神は大変重要であると考えています。

またもう一つ強調しておきたいのは、当クラブは 52 名の会員を擁しているということです。様々な分野の素晴らしい人々のネットワークは何物にも代えがたい財産です。現在世界には 2024 年現在で 36,929 のロータリークラブが存在し、1,181,107 名の会員が在籍しています。一クラブあたりの会員数は平均 31.9 人ということになります。日本ではクラブ数は

2205、会員数は 83480 名、一クラブあたりの平均会員数は 37.8 人となります。これらの数字を見ると当クラブは平均的なクラブの会員数よりもやや大きなクラブであることがお分かりいただけると思います。

S.A.A.や 4 つの統括委員会で 16 の委員会すべてに委員を配して活動できるのも皆さんのおかげです。日々の活動における財務的な面からも会員数の維持は重要です。奉仕活動の原資になりますニコニコボックスの寄付金をとってみても人数が多いからこそある程度確保することが出来るといえます。また、例会時における当クラブの卓話がバラエティに富み素晴らしいのも会員の皆様の広範なネットワークがあるからこそだと思います。

私は、先輩会員の方々から受け継いできました有形無形の素晴らしい財産を引き継ぎ発展させていくことが会長としての最も重要な役割と考えています。

本年度国際ロータリー会長のフランチェスコ・アレツツォ氏は 6 月 8 日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏の突然の辞任を受けて選出された会長でテーマは「良いことのために手を取り合おう」を引き継がれました。このメッセージは政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは様々な背景を持つ人々「人種、宗教、職業を超えて」つなぎ、地域社会で良いことを行うという共通の使命のために活動します。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には次の各項を奨励することにあります。

- 第1 知り合いをひろめることによって奉仕の機会とすること；
 - 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
 - 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
 - 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。
- これらがロータリーの目的です。

目的と同時に忘れてはならないのが四つのテストだと思います。四つのテストについては何度も聞いておられると思いますが、改めて述べておきますと、

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか

言行はこれらの 4 つに照らしてから、というのが4つのテストです。

そのほかにも国際ロータリーは数多くの声明を出しておりますが、ご存じない方も多いと思いますのでこの機会にそのうちいくつかを挙げてみます。

2007 年に採択された声明では 5 つの中核的価値観として「奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ」を挙げています。2017 年にはビジョン声明として「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界をめざしています」。

2018 年にはロータリー行動計画(4 つの優先事項)として「より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める」。

2019 年には多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)として「私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、多様性・公平さ・インクルージョンを受容し、行動で示すべきであると信じています」という声明を採択しています。

時代の変化に応じて色々な声明文が採択され、同じような文言が増えて積み重なっています。しかしながら色々と表現は変わっていますが、よくよく考えてみますと、ロータリーの目的と 4 つのテストを原点とすれば後の各種の声明文はこの中に包含(ほうがん)されているのではないかと思います。

これら RI の強調事項、2570 地区の推進事項等を全て踏まえたうえで、当クラブの本年度のテーマを「届け平和へのメッ

セージ、まごころと思いやりで結ぶロータリー」といたしました。

ロータリーの目的や国際ロータリーの声明とは若干のギャップがあるように思われるかもしれませんが、奉仕活動を行うにせよ会員増強を図るにせよロータリーでの活動を行うにあたって、それが楽しいものであることが重要ではないかと思っています。近年ロータリークラブの会員数の減少が問題になっていますが、活動自体が楽しくなければならぬとこの減少傾向を止めるのは難しいのではないのでしょうか。ロータリー活動をいかに楽しいものにして参加して誇りに思えるという意志と創意工夫にかかっています。

今年度の年度計画書の表紙は平和と皆様との結びつきを願って古代蓮を採用しました。長い眠りから目覚めた力強い生命力を古代蓮に感じ採用いたしました。

おそらく大多数の会員の方はご存じないと思いますが、私も研修を受けるまで知りませんでしたが、毎年 2570 地区のガバナーに当クラブの今年度の戦略計画書を提出することになっています。戦略計画というと大げさですが、要はどのようなクラブを目指していくのかということだと思います。今年から形式が変わりまして1年間の計画ではなく 3 年間の戦略計画書を提出することになりました。

会員の皆様はそれぞれ行田ロータリークラブのあるべき姿を思い描いておられると思いますが、向こう 3 年間の計画として目標会員数を中心に提出することにいたしました。その達成の為の方法等について細かく規定するのではなくフレキシブルに対応していくということです。

今年度の目標は 56 名です。2 年目 3 年目はそれぞれ 58 名、60 名としております。2004 年に 73 名を記録したのが 70 名台の最後の年度です。最近では 60 名を下回る状態が続いています。計画では年間約 2~3 名の純増になるわけですが、簡単そうにみえて実はかなり野心的な目標だと思っています。60 名という大台を達成することが出来ればおのずと多様性が確保され、さらには財政状況も改善するものと思います。次年度、次次年度の役員の方々を含め会員の皆様も大変だと思っておりますがよろしくお願いいたします。

本年度の当クラブの活動方針ですが、平和を願いまごころと思いやりで結ぶロータリーテーマをもとに会員一人一人が目標を意識し努力していくことが大切ですが、特に若い会員の皆様には是非とも知人の勧誘をお願いしたいと思います。ロータリー活動が充実するものであればおのずと退会を減らし、会員の増強にもつながっていくのではないかと思います。より結び付きの強くなるロータリーのアイデアがあれば積極的に採用していきたいと思っておりますので是非ご提案ください。

公共イメージにつきましては、平和へのメッセージを届けるための公開講演会を考えております。そして 2570 地区の第 5 グループを東西の 2 つに分けてそれぞれからガバナー補佐を選出し、インターシティーミーティングを廃止する代わりに第 5 グループ東の中で合同例会を開催していくという変革の時でありますので、近い将来を考え未来構想委員会を設置して強くかかわって行かなければならない地区との関係を現実を作る時であります。国際ロータリー財団、米山奨学会、IPS 細胞研究所への寄付、貢献も続けます。

姉妹クラブとの交流も継続し、特に今年度は姉妹クラブである桑名北ロータリークラブから 2630 地区のガバナーを選出されておりますので 2630 地区の地区大会にも多くのメンバーで参加したいと思います。また行田ロータリー文庫への寄贈や朗読に関心を持った例会も予定しております。ビジネス委員会では皆様の IT への取り組みに役立てればと考えております。クラブ奉仕活動については、各種の親睦活動、健康管理ゴルフ、そして新設のまごころ思いやり委員会では例会そのものも楽しい例会にしながら障害者との共生の場面も学んでいきたいと思っております。災害支援では被災地への支援とサイバーセキュリティへの対応も学んでいきたいと思っております。クリスマス例会と 9 月のライブ例会では全員で盛り上がることを念頭にとり行ってまいります。

例会におきましては、入会年次の若い会員やスリープ会員をサポートするために会員間の交流を図っていききたいと考えています。

また当クラブは財務上かなり厳しい状況にあることはご存じのことと思います。会員の増強を図ることによってある程度財政問題は緩和されます。しかしながら昨今の経済情勢を考えますと会員の増強のみでの解決は簡単ではなく、現実的な解決策としては夜間例会時に飲酒する会員としない会員の参加費に少し差を付けさせて頂きたいと考えています。

坂口ガバナーの地区行動指針の中でクラブの基盤強化のための戦略計画委員会の設置につきましてはパスト会長を中心にした委員と地区出向経験の長い小松委員長を中心として未来構想委員会という名称の委員会で、まずは 2026-2027 年度出向者の選出と地区の再編に対応出来る体制づくりが喫緊の課題と捉え近い未来に対応していきたいと考えます。

総合的に魅力のあるロータリークラブ作りを目指してまいりますので会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします

幹事報告



委員会報告



委員長方針発表①





出席状況



正会員数	52名
出席者	30名
出席率	60%
ニコニコ報告	13,000円

出席奨励・スマイル斎藤浩二委員長

- 坂田会長/各委員長さん1年よろしくお願ひします。
- 小林群司幹事/先日の姉妹クラブ・健康管理ゴルフ委員会の合同炉辺では失礼しました。今後はないように気をつけます。よろしくお願ひします。
- 武笠会員/一年間プログラム委員長、お世話になります。
- 大野会員/忍郷友会120周年講演会の後援団体として御支援頂きありがとうございます。引き続き、御支援の程、宜しくお願ひ致します。



本日の司会 松岡会員